

第4学年 体育科学習指導案

1、単元・教材名 マット運動（器械運動）

2、指導目標

【興味・関心・態度】

- ・スムーズに回転する感覚を味わい、積極的に運動に取り組もうとする。
- ・運動のきまりや安全に留意し、ねばり強く運動に取り組もうとする。

【体育的な思考・判断】

- ・コンテンツを見て学習する技の概念をつかんだりポイントを見つけたりし、見通しを持って学習を進めていくことができる。
- ・互いに運動を見合い、気をつけることを話し合い、教え合いながら運動することができる。

【技能】

- ・最終局面の起き上がりまで、スムーズに回転ができる。
- ・技を選び、組み合わせて発表することができる。

＜学習指導要領の内容＞

- C-(1) 自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、技に取り組んだり、その技ができるようにしたりする。
- ア マット運動及び鉄棒運動について、技に取り組んだり、できる技を繰り返したり、組み合わせたりすること。

3、指導計画（全11時間）

第1次 技を知りマットになれよう（2時間）

第2次 前転系の技を練習しよう（3時間）

第3次 後転系の技を練習しよう（3時間）

第4次 連続技を見せ合おう（3時間・・・本時1／3）

4、ICT活用のポイント

授業場所	体育館
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 補習
ICTを活用する場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
ICTを主に活用する者	<input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> その他
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 比較 振り返り その他 ()
活用するICT	プロジェクタ、スクリーン、DVD、コンピュータ、ビデオ、デジカメ

5、セールスポイント

- ・通常再生、スローモーション、コマ逆送りなどで、技のポイントを理解させることができる。
- ・正確な技のポイントを、何度でも見せることができる。

6、教材

自作・既存

コンテンツ名 中島先生の体育教室
デジタル版 新しい小学校体育授業の展開 他

7、本時の目標

コンテンツを参考にし、技のポイントを意識しながら練習する。

8、授業の流れ（ICTの活用場面を明確に）

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着手 ・ゆりかご ・ろうそく立ち ・起きあがりこぼし 	<p>○特に後転に必要な補助運動を組み込む。</p>
<p>2 技のポイントを確認する。</p>	<p>○DVDをスクリーンに映す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル版 <p>新しい小学校体育授業の展開</p>
<p style="text-align: center;">技のポイントを意識して練習しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後転系の技 後転、開脚後転、伸膝後転 	<p>○映像を停止させ、技のポイントを 確認する。</p>
<p>3 技の練習をする。</p>	<p>○見せ合いながら練習するように指示する。</p> <p>○苦手な子には補助をする。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>カードに記入</p>	<p>○本時のまとめをし、次時の予告をする。</p>
<p>5 後片付けをする。</p>	<p>○安全に留意してできるように声をかける。</p>